

2023 年度

法 人 事 業 報 告 書 ~~（案）~~

社会福祉法人 からし種の会

1. 法人の基本理念

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

からし種の会は、キリストの愛と自由の精神に基づき、利用者の人権とその方の意思の尊重を重視していきます。安心して利用いただける環境づくりに努めるとともに利用者との契約に基づき、利用者本位の質の高いサービスが総合的に提供されるよう創意工夫していきます。

それにより利用者が個人の尊厳と意志決定を尊重した、安心して安全の快適な自立した生活を営むことができるよう支援していきます。また、社会福祉法人としての公共性のもとに、地域社会に開かれた運営をめざします。

2. 法人の経営方針

法人の理念に沿った実践を展開していくためには、安定した持続可能な経営基盤を目指す財務収支の均衡と高い専門性をもって利用者や地域に仕える人材育成が不可欠です。一方で、介護人材の確保のためには、快適な職場環境の形成が不可欠です。そのことから次の経営方針を定め、事業を推進していきます。

- 1 利用者・家族にとって、安全、安心、自分らしさのある快適な生活づくり
- 2 職員にとって、安全、安心、働きがいのある職場環境づくり
- 3 行政、医療、福祉とのよい連携
- 4 地域の家づくりと共生
- 5 持続可能な財政基盤の確立

3 からし種の会が経営している各事業の安定化と質の向上

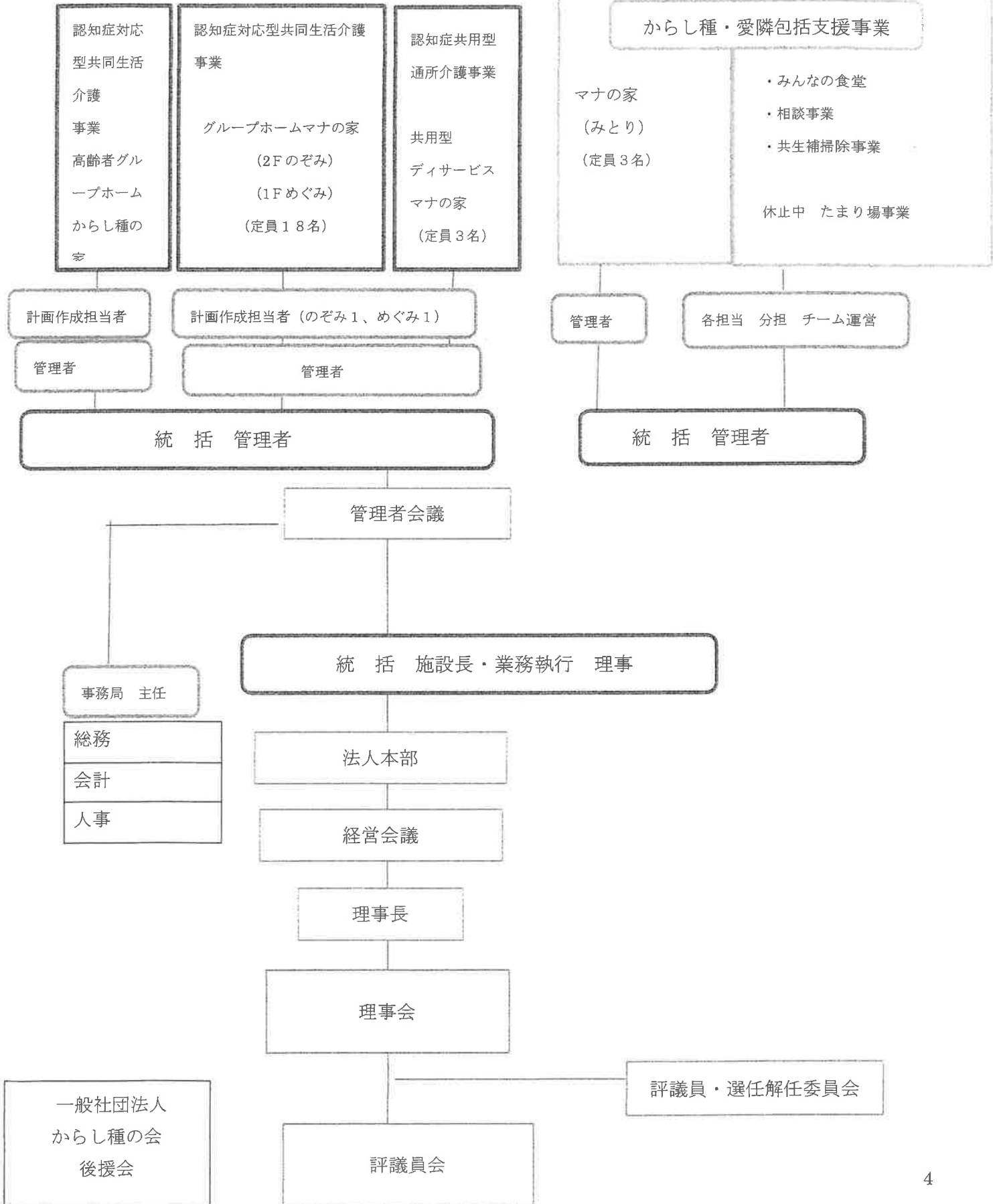
からし種の会	指定事業所番号	指定事業所	事業所名	定員
社会福祉事業	1570102481	認知症対応型共同生活介護	高齢者グループホームからし種の家	9
	1590100697	認知症対応型共同生活介護	グループホームマナの家	18
			(2018.4.5 増床)	
1590100697	共用型認知症対応型通所介護	共用型ディサービスマナの家	3	
公益事業		法人の独自事業・自主事業 からし種・愛隣包括支援 事業	○マナの家	3
			○みんなの食堂 第4月曜日 月1回 お弁当配布 ○共生お掃除事業 毎週水曜日 9:30-11:30 就労支援事業所・気まま舎と連携	
			○たまり場みんなの家マナ 毎週月曜日 10:00~15:00 活動 ○預かり（上記開催時間内2名まで） 活動 ○要支援者等による防災対策事業 活動	活 動 中 止 中

4 組織図

2023年度 社会福祉法人 からし種の会 組織図表

社会福祉事業

公益事業



5. 評議員及び役員等の構成

評議員	理事	監事	評議員・解任委員会
7名	6名	2名	3名

※重点目標：法人ミッション・社会福祉充実計画とその社会福祉充実事業の一体化構想の構築へ

6. 評議員会、理事会開催実績

評議員会	第 1 回	2023 年 6 月 26 日	2022 年度事業報告、2022 年度会計決算報告、社会福祉充実残額、定款の一文変更、理事及び監事候補者の選任、評議員候補者の承認、その他
	第 2 回	2023 年 11 月 6 日	社会福祉充実計画の終了、その他
	第 3 回	2024 年 3 月 30 日	評議員選任・解任委員の承認、その他

理事会	第 1 回	2023 年 6 月 12 日	2022 年度事業報告、2022 年度会計決算報告、社会福祉充実残額、諸規程の新設及一部改正、定款の一部変更、理事及び監事の候補者、評議員の候補者、評議員会の招集、その他
	第 2 回	2023 年 6 月 26 日	理事長選任、業務執行理事の選任、その他
	第 3 回	2023 年 9 月 19 日	福祉車両購入契約、諸規程の一部改正、社会福祉充実計画、その他
	決議の省略	2023 年 10 月 28 日	評議員会の招集
	第 4 回	2024 年 1 月 29 日	2023 年度補正予算、諸規程の一部改正、地震による被害状況、その他
	第 5 回	2024 年 3 月 18 日	2024 年度事業計画、2024 年度予算、評議員選任・解任委員の推薦、人事、諸規程の一部改正、その他

※その他、必要に応じて適時開催

7. 法人借入金償還計画（元金）

借入先	2024 年 3 月末		当期償還額	2024 年 3 月末	
	当初借入額	償還済額		借入残額	備考
福祉医療機構	63,200,000 円	46,638,000 円	3,492,000 円	16,562,000 円	既存マナの家
	85,000,000 円	23,414,000 円	4,452,000 円	61,586,000 円	増床マナの家
計	148,200,000 円	70,052,000 円	7,944,000 円	78,148,000 円	

8. 利用者目標 計画

事業所名	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 見込	2023年度 実績	2024年度 目標
からし種の家	97.95%	93.23%	97.00%	97.25%	98.00%
マナの家	98.44%	93.92%	97.00%	96.40%	98.00%
共用型サービス	72.05%	65.58%	75.00%	56.71%	40.00%
公益事業 (マナの家)	107.52%	102.31%	95.00%	79.47%	50.00%

9. 経営会議 (2023年度)

実施回	実施日	検討内容	人数
第1回	2023年5月29日	・2023年2,3月分巡回監査実績報告について ・予算執行状況について ・今年度の予算執行について ・社会福祉充実残額について ・2022年度決算について ・2022年度決算付属明細書について	4名
第2回	2023年7月18日	・2023年4,5月分巡回監査実績報告について ・前年対比運営状況について ・予算対比について ・水道光熱費について ・社会福祉充実残額について	4名
第3回	2023年9月25日	・2023年6,7,8月分巡回監査報告について ・2023年9月末の収支状況 ・予算執行割合について ・2024年3月末の収支見込 ・2024年社会福祉充実残額の見込	3名
第4回	2023年11月20日	・2023年9,10月監査報告について ・2023年9,10月運営状況 ・予算執行状況 ・2023年社会福祉充実残額の見込	4名
第5回	2024年1月15日	・2023年11,12月分の巡回監査報告について ・2023年11月末・12月末の収支状況、予算執行割合について ・2024年3月末の収支見込 ・2023年社会福祉充実残額の見込	4名
第6回	2024年2月19日	・2024年1月分監査報告 ・2024年3月末の収支見込 ・予算執行状況(補正後予算額と比較) ・前年比、2023年社会福祉充実残額の見込	5名

10. 管理者会議（2023 度）

実施回	実施日	主な協議・報告事項	人数
第1回	2023 年 4 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居・空室状況について ・ご利用者状況 ・面会・抗原検査について ・2023 年度会計管理について ・その協議事項 	6 名
第2回	2023 年 5 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の体調など近況 ・空室対策について(具体的スケジュールの情報共有) ・人事について(職員配置および引継状況等、新採用・離職予定) ・2023/7/7 の新潟市実施指導に伴う体制等について ・各事業報告書の作成 ・6 月理事会・評議員会・評議員選任・解任委員会について ・会計より決算、各事業の修繕について 	6 名
第3回	2023 年 6 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・空室状況について ・ご利用者の体調など近況 ・入居確保に向けた改善について ・人事について ・2023/7/7 の新潟市実施指導に伴う体制等について ・6 月理事会報告について ・実習生受け入れ ・会計より決算、各事業の修繕、23 年度各事業予算について ・職員の近況 ・その他 	5 名
第4回	2023 年 7 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・空室状況について ・入居者確保・今後の予定について ・ご利用者の体調など近況 ・人事について(採用・離職予定) ・2023/7/7 新潟市実施指導に伴う体制等について(報告) ・コロナ感染防止対策について(ワクチン接種状況等) ・各事業の修繕・エアコン等の整備状況について(予算管理) ・会計より、各事業予管理について 	5 名
第5回	2023 年 8 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の入退居状況について ・ご利用者の体調など近況 ・職員の近況について ・設備等について(福祉車輛の購入) ・BCP について(研修など) ・運営規程変更について ・法人研修、実践者研修、身体拘束に関する研修について ・コロナ罹患時の対応について(同意書など) 	5 名
第6回	2023 年 9 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居について(現在の状況・予定) ・ご利用者の体調など近況 ・福祉バザーについて(開催日、担当者、内容など) ・休憩時間について ・面会について ・職員の近況 ・運営規程一部改正 ・業務継続計画について(研修等) ・その他(ACP) ・各ワクチン予防接種について(インフル、コロナ) ・各ホーム修繕、備品購入等 ・福祉車輛について(入札) 	5 名
第7回	2023 年 10 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザーについて ・業務継続計画の作成について ・ご利用者の体調など近況 ・職員の近況 ・その他(感染症対策強化、指針の整備等) 	5 名

		・インフル・コロナワクチン予防接種について	
第8回	2023年11月27日	・12/25 クリスマス礼拝について ・業務継続計画の作成について ・ご利用者の体調など近況 ・職員について ・2023年福祉バザー について ・機関紙作成 ・各ホーム修繕、備品購入等	5名
第9回	2023年12月26日	・公益の業務体制について ・デイサービスの業務体制について ・職員について ・ご利用者の体調など近況 ・業務継続計画の作成について(感染症発症時、自然災害発生時) ・深夜の休憩時間について ・12/21 機関紙発送 ・各ホーム修繕、備品購入等 ・1/29 理事会開催予定	5名
第10回	2024年1月29日	・ご利用者の体調など近況 ・職員について ・業務継続計画の作成 について ・災害時の備え(必要な備品を購入) ・4月以降の勤務配置等の新体制について ・マナの家の1月以降の新体制について(モニタリング)	5名
第11回	2024年2月27日	・ご利用者の体調など近況 ・職員について ・業務継続計画の作成について(感染症発生時用、自然災害発生時) ・災害時の備え(必要な備品を3月中に購入予定) ・理事会関係 2024年度事業計画(案)2024年度予算(案)	5名
第12回	2024年3月25日	・ご利用者の体調など近況 ・職員について ・業務継続計画の作成について(感染症発生時用、自然災害発生時) ・災害時の備え	5名

1.1. 2023度共生お掃除事業 実施報告

	実施日	場所	作業内容	参加人数
1	2023.4.5	地階いこい	掃除機をかける/床のモップ掛け/椅子、机、手すり、 スイッチ部分を消毒/ゴミ回収	4名
		地階トイレ	床掃除/便器、便座拭き上げ/洗面台、 鏡磨き/ゴミ回収	
		庭	草取り/草を袋に入れ、収集場所に捨てる	
2	2023.4.12	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
3	2023.4.19	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)窓拭き、落ち葉拾い	4名
4	2023.5.17	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
5	2023.5.24	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)駐車場清掃	4名
6	2023.5.31	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
7	2023.6.14	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名

8	2023.6.21	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)窓ふき、駐車場清掃	4名
9	2023.7.5	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
10	2023.7.12	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
11	2023.7.19	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
12	2023.7.26	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
13	2023.8.2	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	3名
14	2023.8.23	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	5名
15	2023.8.30	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	5名
16	2023.9.6	みんなの家	掃除機をかける/床のモップ掛け/椅子、机、手すり、 スイッチ部分を消毒/ゴミ回収	4名
17	2023.9.13	みんなの家/地階いこい/地 階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
18	2023.9.20	みんなの家/地階いこい/地 階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
19	2023.9.27	みんなの家/地階いこい/地 階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	5名
20	2023.10.4	みんなの家/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
21	2023.10.11	みんなの家/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
22	2023.10.18	みんなの家/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
23	2023.10.25	みんなの家/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
24	2023.11.1	地階いこい/地階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
25	2023.11.8	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	5名
26	2023.11.15	みんなの家/地階いこい/地 階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	5名
27	2023.11.22	地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	3名
28	2023.11.29	みんなの家/地階いこい/地 階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
29	2023.12.6	みんなの家/地階いこい/地 階トイレ	((前回の各場所での作業内容と同じ)	4名
30	2023.12.13	みんなの家/地階いこい/地 階トイレ/庭	(前回の各場所での作業内容と同じ)、一部除雪	4名
31	2023.12.20	みんなの家/地階いこい/地 階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	3名
32	2023.12.27	みんなの家/地階いこい/地 階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)、一部除雪	4名

33	2024.1.10	みんなの家/地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)、落ち葉拾い	4名
34	2024.1.17	みんなの家/地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)、窓拭き	4名
35	2024.1.24	みんなの家/地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ) 玄関窓拭き	4名
36	2024.1.31	みんなの家/地階いこい/地階トイレ/庭	((前回の各場所での作業内容と同じ)、窓拭き	4名
37	2024.3.6	みんなの家/地階いこい/地階トイレ	(前回の各場所での作業内容と同じ)	3名

12. 職員の状況

退職者

からし種の家 2人、マナの家 9人、公益マナの家 2人、事務 1人
常勤職員 6人、パート職員 8人 合計 14人

採用者

からし種の家 1人(マナの家と兼務)、マナの家 4人、事務 1人
常勤職員 2人、パート職員 4人 合計 6人

社会福祉法人からし種の会 2023年度 法人 事業報告

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

総括

2023年度は、法人事業開始から20年目の節目の年にあたる。ところが基盤の安定には程遠く新型コロナウイルス感染症によるクラスターの発生（各ユニットで発生）を機に、深刻なる退職者増という事態に陥り、人材不足のため、やむなく事業を縮小せざるを得ないという危機的状況に追い込まれた一年であった。

同年5月8日には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されたが、当法人においては初めてのクラスター発生となり、グループホームのユニット間の行き来もままならず、限られた職員体制を直撃し、緊張と負担の多い介護現場となってしまった。長期間の緊張等による疲弊は、収束後の退職にもつながるという原因の一つであった。さらに、利用者の重度化等、利用者本位であることは認知症ケアにおいては、重要である。しかし、グループホームという生活の場では他の利用者や職員ら含め「共同生活を営む」ことのできる空間であり、残念ながら一人一人の個人的対応が過重すぎることで、職員らの精神的負担増になっていた。退居後の空室が続く背景にもそうした職員間の疲弊があったものと思われる。さらに、余裕のない職場間の人間関係は、ハラスメント相談件数の増として表面化した。この場合は、なかなか解決に至らず、社会労務士に何度も相談や同席を重ねながら、最終的には訓告の処置をとるに至った。また、管理者などの周囲への影響力のある人物が退職したこともあり、1つのユニットで退職者の連鎖が起こったこと等は、これまでにない事業規模の縮小という深刻な事態となった。

からし種・愛隣包括支援事業のうち、看取りを中心として運営されてきた3名定員のうち2名の退居（ホームでの看取り1名、重度のため医療施設へ1名）を機にしばし、入居受け入れを休止、共用型ディサービスの利用者の継続のみとして縮小した。それにより、欠員の部署に職員を配置転換し、1か月間の試行期間を設け、職員たちの理解と協力をいただきつつ調整を図り、今日に至っている。

残念ながら、退職者の連鎖はまだ続いていくことも見込まれる。今後も人材確保とともに介護力・質の向上を目指して、話し合いを重ねつつ、風通しの良い働きやすい環境づくりが急務である。また、管理者やリーダー等の責任ある仕事に着きたがらない傾向があることも大きな課題となっている。責任の重さと仕事量の多さがあげられる現状において、その権限や役割分担を明らかにしていくことをはじめとして、職員の採用・定着においても、働きに見合った給与体系を再検討していきたい。法人の転換期となったこの危機をチャンスとして、新しくご利用者・ご家族・職員・法人関係者・地域住民のひとり一人と向き合いつつ、法人に与えられているミッションに応えていきたい。

I 法人事業報告

1. 次の重点課題への取り組みについて報告していきたい。

- (1) より専門職としてのスキルアップを図るために、次世代を担うマンパワー育成等に取り組む
 - ① 中間層者職員たちを対象とした次期リーダー、管理者研修プログラム育成研修に取り組む
 - ・退職者の連鎖への対応に追われ、①の取り組みはできなかった。次年度以降に繰り越される。
 - ② 職場での人間関係の悩みやハラスメント等に対し相談窓口を整備し、職場環境を整備していく
 - ・②については、体制が整備され、人間関係の悩みやハラスメント等が複数よせられた。
 - ・難しい案件に対しては、顧問である社会労務士に相談しつつ、同席を願いながら対処した。
 - ・文書で通知した件数は2件あった。

- (2) 認知症の人の「自分らしさの快適な生活づくり」を意識して学びなおし、実践する取り組み
 - ① 認知症の人の意思決定支援など、全職員たちが意識して学び合う研修環境を整備していく。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策・クラスター発生（1ユニット×2）や人員不足のため、研修環境が充分であったとは言えない。別紙参照。
 - ② コロナ感染防止等の対策を取りながら、利用者の買い物や外出の機会を応援する「おでかけGO」の社会資源の創出に取り組む。
 - ・馬主協会の助成による福祉車両は2024年3月になり、事業は次年度以降に引き継がれることになった。
 - ③ 県内外のグループホームとの交流や職員間の研修などをオンライン等にて取り組んでいく。
 - ・③については実施できなかった。

- (3) 財務基盤の強化へ向けた取り組み
 - ① 組織の変更により管理体制を整え、職員一人ひとりの個性を活かした職場づくりに取り組む。
 - ② 法人全体の経営状況の改善を図る。
 - ③ 利用者の健康管理に努め継続支援を行うとともに、入退居時の空室期間の短縮化を図る。
 - ④ 税理士法人さくら総合会計による巡回指導と経営会議の連動による経営管理を強化する。
 - ・税理士法人さくら総合会計の都合により巡回担当者の変更があった。経営会議は隔月毎に別表の通り実施できた。
 - ・①、②、③は決算のとおり、改善できなかった。
 - ⑤ 会計仕訳入力を担当していた事務職員がご家庭の都合により退職となり、決算処理の時期が重なった為、事務職員の業務負担が増加した。行政からの調査依頼や提出文書作成等も年々増える中で、各大学、専門学校、ハローワーク、求人広告、派遣会社等への求人募集をしたが採用に至らなかった。
 - ⑥ ⑤に記載の理由より、限られた人数での事務局業務が追い付かないことが見込まれ、2024年度からの毎月の会計仕訳入力等については、業務委託も視野に入れて検討し、委託先で使用している会計ソフトへの切り替えを含め、今後の法人会計処理について決断が急がれる。（現在3社へ見積書を依頼済）

2023年度 法人新規事業報告

事業名	次世代を担うマンパワー育成事業
事業目的	中間層の職員を対象とし次期リーダー、管理者育成研修プログラムを新設し、次のキャリアアップに進める目標づくりとマンパワー育成の体制を整備する。
事業内容	① 次期リーダー育成研修、管理者育成研修プログラムの事業設計に取り組む。 ② 上記の実現化のために専門家の協力を得て、新事業の基盤づくりを行う。 ③ 受講対象者の条件整備や全職員への周知方法を吟味して年度内に実施する。
実績内容	認知症グループホームで介護職として勤務するために、資格のない職員については2024年3月末までに認知症基礎研修を修了しなければならなくなり、法人として職員の資格取得の支援に取り組んだ。次世代のリーダーや管理者の育成を見据え、研修を検討したが、施設内でのコロナウイルス感染症の発生や、人材不足の中での職員配置等の理由により、じっくりと人材育成プログラムを実施するには至らなかった。

事業名	働きがいのある職場環境・ハラスメント防止事業
事業目的	介護現場などの職場環境において、人間関係のトラブルや悩み、ハラスメント防止にむけた職場の配置や業務の見直し等による職場環境の改善化を図る。
事業内容	① ハラスメント防止規程を新設する。 ② ハラスメント相談員を1名配置し、専用ダイヤルを新設する。 ③ ハラスメント調査委員会を新設し、発生した事案等に適正に対処する。 ④ 全職員の周知の徹底及び研修の実施し、働きがいのある職場づくりに努める
実績内容	ハラスメント防止相談窓口の設置により、相談が数件あった。相談内容をその都度調査委員会において対応を検討し、顧問の社会保険労務士様からの指導を受けながら適正に対応した。

事業名	空室の短縮化と職員の人材確保のための補佐体制事業
事業目的	利用者の入退居による空室の短縮化を目指すとともに、職員の採用に関する業務を補佐する専従の職員を配置し、担当職員と連携し受入れ体制の改善を図る。
事業内容	① 入居に関する補佐業務・採用に関する補佐業務に専従する職員を配置する。 ② 補佐業務を見える化し、管理者や人事担当者らを補佐するとともに、2023年度の利用率やスムーズな人材確保に結び付ける。

実績内容	各大学への求人募集、求人サイトへの掲載、人材紹介、ハローワークへの求人や就職フェアでのブースの出店等、人材確保に繋がるよう出来る限りの事をしたが、結果的に採用に至らなかった。
------	---

事業名	各ホームの利用者間のお仲間づくり、おでかけ GO 支援事業
事業目的	福祉車両の購入に伴い、各ホーム間を巡回する「おでかけ GO」の外出を支援し仲間づくりの場を創出していく。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 7人乗りの福祉車両の有効活用の一つの方法として、各ホーム間を巡回するおでかけ GO を月 1 回の試行運転から始め、外出の機会を創出していく。 ② そのための体制を構築しながら、職員間への周知、理解のもと実施する ③ 全事業の利用者を対象とし、職員間の連携を図りながら外出を支援する。
実績内容	一般社団法人新潟馬主協会の助成金手続き、及びトヨタカローラ新潟からの納車が 2024 年になってからとなり、雪の降る時期であったことと、施設内でのコロナウィルス感染症の発生等により、お出かけは翌年度からとなった。

高齢者グループホームからし種の家 2023年度事業報告（案）

基本理念

本事業は、キリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 地域とかかわりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

- 1、入居されている方それぞれの生き方や価値観を尊重し、入居者とご家族を含め職員それぞれがお互いに認め合う。入居者の方同士の関係性を守っていく。
- 2、コロナ禍での具体的な外出支援実施への取り組み
- 3、食べることを楽しんでいただく取り組み
- 4、委員会活動の機能的な実施

行動計画

1 <具体策>

- ・日々のホームでの暮らしの中で入居者間での不満や心配の声聴かれる。その都度席替え（状況によってはリビング全体の模様替え）を行うなど環境を変えることで対応していく。そのため各職員は入居者の「声」や表情を日頃から注意深く見守り変化に気づいていく必要がある。職員間で共有できるよう職員会議や日々の申し送りを今まで以上に丁寧におこなっていく。
- ・居室内の整理について、ご本人が大切にされていた物（ご家族の写真等）をご本人が管理できず紛失されてしまうことのないよう支援する。室内清掃時に確認し必要時職員でお預かり、またはご家族にお渡しするなどご本人の大切な思い出をお守りする。室内清掃のやり方を職員会議で再検討していく。

1 に対して

- ・ご利用者同士の関係性が固定化され、席替えによる混乱が懸念されるため、活動に合わせて席を変えることを意識して取り組んできた。ご利用者の声や様子を見ながら、居室や二階のソファも活用しながら気分転換を図ったり、個別の交流の機会を保つことができた。またレクリエーションや行事の際は全員が集まれるようテーブルの配置を変え、職員が仲介に入ることでホーム全体で和やかに過ごす時間を作ることもできた。普段関りの少ない方同士が話をするきっかけにもなっ

ている。次年度も継続したい。

- ・手紙類は思い出や他者とのつながりの中で大切にしてください。量が多くなるとご本人の気疲れにつながる場合があります、ご本人やご家族と相談しながら手元に置く量を減らすなど対応した。認知症の進行によりご自分の持ち物の紛失や破損があり、その都度ご家族に報告しながら、ご本人の動きも尊重している。認知症の症状の中で物の紛失や破損の恐れがあることを踏まえて、どこまで持っていていただくかは今後も課題である。

2 <具体策>

- ・気候に合わせてホーム周辺の散歩の機会を作る。日中帯の買い物やイベントごとがない日を目安に積極的に誘いし気分転換していただく。誘いする組み合わせやホーム待機の職員配置等事前に打ち合わせ危険がないよう安全に支援する。
(職員会議や日々の申し送りを通して職員の共通認識とする)
- ・花見や海岸沿いの車でのドライブの実施。外出計画を作成し職員体制を整え実施していく。また、人混みを避けマスク、手袋の着用など感染予防の徹底を外出計画に含めていく。
- ・ホーム内で過ごされること多く筋力、体力の低下予想されるため、安定して歩行されていた方でも注意深く見守りし安全に外出を楽しんでいただく。

2 に対して

- ・気候の良い時期は散歩にお誘いし、外出の機会は増えている。歩行機能の低下により、1対1で介助が必要な方がほとんどになっている。歩ける距離や介助方法は職員間で情報共有して安全に外出できている。
- ・コロナが5類に移行したこともあり、感染対策をとりながらスーパー等への買い物や町内の敬老会、法人のバザーへの参加もできた。行事の場合は外出計画を作成し、職員配置も準備して行った。希望のある外食やお茶などの機会を徐々に再開できるとご利用者の楽しみも増えると思われる。
ご家族との外出が可能となり、ご自宅やお墓参りなどでかけられる方もおられた。歩行状態などご家族にお伝えしている。

3 <具体策>

- ・季節にあった食材を用意しホームの中で過ごされることも多くても「食」を通して季節を感じていただく。
- ・ホットプレートをリビングに用意しホットケーキやたこ焼き等を作る過程を入居者、職員で共に楽しむ機会を増やしていく。安全に配慮し職員体制調節が必要のため事前に計画書作成のもと検討していく。

- ・買い物前に食べたい物の希望や調理方法を入居者の方々に相談し、入居者様の希望を反映させた食事を提供していく。

3 に対して

- ・季節を意識して初物を用意し、楽しんで頂いたり、菊もぎやえだ豆むきなど季節の食材での手仕事をお願いするなど意識して取り組んでいる。時期ごとにおはぎを作ったり、蒸しパンをおやつに作ったり一緒に調理を楽しめる機会を作っている。ホットプレートを囲んでの調理はできなかったが、次年度は全員で参加できるような食の機会を作りたい。
- ・日常的に材料から食べたい物などお聞きしたり、調理方法を教えていただいている。行事の際や誕生日には食べたい物をお聞きしてお出しするようにしている。お正月や七夕、土用、冬至、ひな祭りなど季節ごとに職員で話し合い、メニュー、調理担当を決めて対応できている。

4 <具体策>

- ・マナの家職員と共にリスクマネジメント、身体拘束、虐待防止の各委員会活動の実施。研修を通して全職員の共通認識とし知識を深め日々のケアに活かしていく。

4 に対して

- ・身体拘束廃止、虐待防止委員会はマナの家と合同で3ヵ月ごとに開催し、研修の開催まで委員会で担当することができた。議事録の回覧により職員への周知も行っている。
- ・次年度は身体拘束廃止、虐待防止以外にも感染症対策やBCPなどの研修、委員会開催など運営基準に沿って職員が主体的に実施していけるよう体制を整えることが目標。

2. 運営推進会議

年 月 日	内 容
2023年5月23日	活動内容・事故報告 コロナ5類移行後の対応
2023年7月25日	活動内容・事故報告 新潟市運営指導指摘事項、避難訓練結果、課題
2023年9月26日	活動内容・事故報告 第三者委員新規就任報告
2023年11月28日	活動内容・事故報告 行事参加報告 苦情受付対応
2024年1月23日	活動内容・事故報告 能登半島地震の被害、対応等
2024年3月26日	活動内容・事故報告 避難訓練実施報告 外部評価実施報告、課題検討

3. 外部評価

評価機関	あいエイド新潟		
自己評価作成日	2023年	12月	25日
訪問調査日	2024年	2月	23日
評価確定日	2024年	5月	日
市町村への結果提出日	2024年	月	日

4. 利用者介護度年齢別構成

2024年3月末

	65歳未満		65～69歳		70～79歳		80～89歳		90～99歳		100歳以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
要支援2													
要介護1							2		1				3
要介護2							2						2
要介護3							1		1				2
要介護4							1						1
要介護5							0						
計							6		2				8
最高年齢	96歳												
最低年齢	80歳												
平均年齢	86.6歳												
平均介護度	2.1												

5.入居期間 (2024年3月末時点)

区分	性別		計
	男性	女性	
1年未満	0	1	1
1年～3年未満	0	4	4
3年～5年未満	0	2	2
5年～7年未満	0	1	1
7年～9年未満	0	0	0
計	0	8	8

6.入退居状況

区分	性別	2023年										2024年			計			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
入居	男															男		1
	女						1									女	1	
退居	男												1			男	1	2
	女				1											女	1	
主な退居理由		・ご本人の身体面の重度化と申し込んでいた老健の順番が来たため。																
		・体調不良により入院。その後体調の改善見られず退居となる。																

7. 行事・面会・外出等報告

高齢者グループホームからし種の家

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
行事	寺尾中央公園花見 1名 イースター礼拝	端午の節句(しょう ぶ湯、笹団子) 誕生日会(1名)	合同誕生日会(2名)	七夕 誕生日会(1名)	夏祭り	敬老お祝い 彼岸おはぎ作り
散歩	6名 13回	7名 20回	7名 18回	1名 7回	0回	1名 2回
外出等	買い物 1名 1回 ドライブ 1名 家族と墓参り 1名		買い物 2名 2回		家族と墓参りへ外 出 1名	家族と墓参りへ外出 1名
面会	延べ15名 7回/ (利用者 5名)	延べ16名 9回/ (利用者 4名)	延べ7名 5回/ (利用者 5名)	延べ8名 5回/ (利用者 5名)	延べ6名 5回/ (利用者 3名)	延べ1名 1回/ (利用者 1名)
その他			敬和学園大学社会福祉士実 習(半日づつ 2名)	新潟市運営指導 (2名)		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事	ハロウィン(お菓子つ かみ取り)	誕生日会(1名)	クリスマスお楽しみ会 クリスマス礼拝・祝会 ゆず湯	お正月	節分豆まき 誕生日会(4名)	ひな祭り 彼岸おはぎ作り
散歩	6名 14回	2名 3回	2名 3回	0回	2名 3回	2名 2回
外出等	町内敬老会参加(2名) マナの家まで(1名)	からし種の会福祉バ ザー(4名参加) ドライブ(3名) 買い物(1名)	買い物(2名各1回づつ) 家族と外食 1名	買い物(1名 1 回) 家族と外出 1名	買い物(1名 1回)	
面会	延べ6名 5回/ (利用者 4名)	延べ8名 5回/ (利用者 4名)	延べ7名 3回/ (利用者 3名)	延べ10名 5回/ (利用者 3名)	延べ11名 6回/ (利用者 3名)	延べ5名 3回/ (利用者 3名)
その他					外部評価(2名)	

グループホーム マナの家 2023年度事業報告(案)

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 地域と関わりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

1. 利用者の思いや意向が尊重された暮らしをつくる。
2. 感染症対策の強化、業務継続に向けた取り組みの強化。
3. ご利用者と地域とを結ぶ支援。
4. 委員会活動や研修を通じて職員個々のキャリアアップを図る。
5. マナの家、からし種の家、公益の情報共有と協力体制を築く。
6. 利用者の入退居による空室の短縮化をめざす。

行動計画

1. 利用者の思いや意向が尊重された暮らしをつくる。

- ①ケアプランに利用者の思いや意向を反映し、日々の具体的な支援（役割や楽しみ事への希望、入浴や排泄支援でのプライバシーへの配慮等）につなげた。
- ②運営推進会議の際に事前に確認した利用者の意見をレジュメにまとめて報告し、また毎回利用者の代表に会議に参加して頂き、サービスや運営に関する意見を伺った。
- ③日常の些細なことでも利用者にとって大切な要望ととらえ（空調調整、食事メニューの希望、過ごし方等）、要望が聞かれた際は申し送りや記録で職員間で共有し対応を行った。
- ④昨年度行った「利用者アンケート」は実施できなかった。
- ⑤新型コロナウイルス感染症が5類となり、以前から要望のあった外出やご自宅への外泊を実施した。

2. 感染症対策の強化、業務継続に向けた取り組みの強化。

- ①BCPに関する研修を繰り返し受け、専門家から助言を受けながらBCPの作成を行った。
職員向けの研修は次年度に行えばよいとの指導で、2024年度内にBCPを用いた職員研修を行う予定である。
- ②BCP作成に伴い、必要な備蓄（感染症、災害共に）を整理し、購入や備蓄保管場所の確保など準備を行った。

- ③年度内に2回、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。マニュアルに沿って職員間の協働や医療との連携で対応し、利用者、職員の重症化はなく終息できた。
- ④ホームでのクラスター発生を振り返り、次の対応や準備に活かした。また、新型コロナウイルス感染症感染時の「意思確認書」を作成し、ご家族の意向の確認を行った。

3. ご利用者と地域とを結ぶ支援。

- ①運営推進会議で利用者の暮らしや課題を発信し、委員の方から意見や情報を頂いた。(具体的に地域の徘徊搜索訓練、地域の祭りや災害訓練等。地域包括からは、地域の感染症状況や商業施設を利用した新しい認知症カフェの情報など)
- ②散歩や買い物の機会が増え、日常的に地域の方と挨拶を交わし、犬の散歩などペットを通じた交流などが図られた。
- ③有明地区とからし種の会の合同の作品展・バザーで交流が図られた。また、地区の地震想定避難訓練に参加した。
- ④みんなの食堂のお弁当パッケージを今年もご利用者に作成していただき、間接的ではあるが、ご利用者の力をみんなの食堂に活かすことができた。

4. 委員会活動や研修を通じて職員個々のキャリアアップを図る。

- ①防災委員会、身体拘束適正化・虐待防止委員会の活動は充実できたが、その他の委員会については不十分だった。
- ②防災委員会では、避難訓練時に委員による通報訓練指導や防災機器訓練指導を追加し、職員全員が行なえるよう研修を行った。BCP作成に伴う備蓄の見直し、準備を行った。
- ③身体拘束適正化・虐待防止委員会では、定期的な会議の開催以外に、外部研修の開催準備を行った。職員の学びがより実践に活かせるよう「アンガーマネジメント研修」を取り入れた。内部研修は委員が講師となり、身体拘束や虐待についてやマニュアルについて説明を行い、職員が自分事として考え取り組めるようグループワークを行った。
- ④年間の研修計画に基づき、職員が必要な研修が受けられるよう、勤務調整等を行い、学ぶ機会を確保した。

5. マナの家、からし種の家、公益の情報共有と協力体制を築く。

- ①委員会や行事で協力を行った。
- ②運営推進会議で管理者が双方の会議に参加し合うことで、情報共有や意見交換を行った。
- ③会議録の回覧で情報共有を図ったり、合同の会議を必要時に行い、共に問題解決に取り組んだ。(公益休止、夜勤二人体制の変更、デイサービス継続についてなど)

6. 利用者の入退居による空室の短縮化をめざす。

- ①ウェブサイト(みんなの介護)の活用やホームページに空室情報を載せ、情報伝達に努めた。
- ②外部からの問い合わせには、空きがない場合でも今後の見通しを伝えたり、すぐに入居対応できない場合でも、マナの家でできることがあれば相談にのる旨など伝え、関係作りに努めた。

グループホーム マナの家 2023年度 年間行事報告

	内容	備考
4月	イースター お花見（寺尾中央公園・青山小学校）	誕生日会
5月	端午の節句（季節の壁面飾り作り）	誕生日会
6月	和菓子の日（6/16）	誕生日会
7月	土用の丑の日 七夕祭り 風鈴作り	誕生日会
8月	新型コロナウイルス感染症クラスター発生。 各ユニットですいか割り、ゲーム大会	誕生日会
9月	有明地区防災訓練参加 避難訓練（夜間想定） 敬老のお祝い お彼岸（おはぎ作り）	誕生日会
10月	バザー準備	誕生日会
11月	有明地区合同作品展・福祉バザー 干し柿、さわし柿作り	誕生日会
12月	合同クリスマス会 お正月準備 忘年会	誕生日会
1月	新年会（食事会、お正月の遊び、書初めなど）	誕生日会
2月	節分	誕生日会
3月	ひな祭り おはぎ作り 避難訓練	誕生日会

2. 運営推進会議

年 月 日	内 容
2023年5月23日	活動内容報告 事故報告 ご利用者アンケート結果
2023年7月25日	活動内容報告 BCP研修会 西区ケア会議報告(身寄りなし支援・ACP)
2023年9月26日	活動内容報告 自治会防災訓練参加 事故報告 新型コロナ感染症クラスター発生報告
2023年11月28日	活動内容報告 地域徘徊模擬訓練 身体拘束適正化・高齢者虐待防止研修
2024年1月23日	活動内容報告 奥能登(1/1)地震時の対応報告
2024年3月26日	活動内容報告 新型コロナ感染症クラスター発生報告 火災避難訓練 ACPについて

3. 外部評価 ※外部評価実施回数に関する適用の要件を満たし今年度の実施はなし

評価機関	あいエイド新潟			
自己評価作成日	令和	年	月	日
訪問調査日	令和	年	月	日
評価確定日	令和	年	月	日
市町村への結果提出日	令和	年	月	日

4. 利用者介護度年齢別構成 のぞみ

2024年3月末

	65歳未満		65～69歳		70～79歳		80～89歳		90～99歳		100歳以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
要支援2								1					1
要介護1							1	1		1			3
要介護2					1			1		2			4
要介護3													
要介護4										1			1
要介護5													
計						1	1	3		4			9
最高年齢	94歳												
最低年齢	75歳												
平均年齢	87歳												
平均介護度	1.8												

利用者介護度年齢別構成 めぐみ

要支援2													
要介護1										3			3
要介護2										2			2
要介護3									1				1
要介護4									1	1			2
要介護5												1	1
計									2	6		1	9
最高年齢	104歳												
最低年齢	77歳												
平均年齢	89歳												
平均介護度	2.5												

5.入居期間（2023年3月末時点）のぞみ

区分	性別		計
	男性	女性	
1年未満	0	3	3
1年～3年未満	1	3	4
3年～5年未満	0	1	1
5年～7年未満	0	0	0
7年～9年未満	0	0	0
9年以上	0	1	1
計	1	8	9

6.入退居状況 のぞみ

区分	性別	2023年									2024年			計			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
入居	男														男		3
	女				1	1						1			女	3	
退居	男														男		3
	女	2									1				女	3	
主な退居理由		・ご本人の身体面の重度化と申し込んでいた特養入居の順番が来たため。															
		・圧迫骨折のリハビリで入院。その後、状態改善せず、病院から療養病棟へ移られた。															
		・体調不良により入院。その後体調の改善見られず退居となる。															

5.入居期間（2023年3月末時点）めぐみ

区分	性別		計
	男性	女性	
1年未満	1	2	3
1年～3年未満	0	3	3
3年～5年未満	0	0	0
5年～7年未満	0	2	2
7年～9年未満	0	1	1
9年以上	0	0	0
計	1	8	9

6.入退居状況 めぐみ

区分	性別	2023年									2024年			計			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
入居	男		1												男	1	3
	女					1				1					女	2	
退居	男														男	0	3
	女	1	1						1						女	3	
主な退居理由		・ご本人の身体的重度化と申し込んでいた公益の入居の順番がきたため。															
		・家族の転居に伴い、他GHに住み替え。															
		・入院後、ご家族の希望で自宅に住み替え。															

7. 行事・面会・外出等報告

グループホームマナの家 のぞみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
行事	寺尾中央公園花見 (2名) イースター礼拝	端午の節句	誕生日会 (1名)	七夕 誕生日会 (3名)	夏祭り 誕生日会 (2名)	敬老お祝い (お饀頭)
散歩	0回	1名1回	0回	0回	0回	0回
外出等	受診3名5回	受診5名7回 カット3名 ドライブ1名1回	ドライブ2名1回づつ 受診2名	受診3名4回 カット3名 ドライブ1名1回	受診1名1回	受診3名5回 カット3名 ドライブ1名
面会	延べ13名13回 (利用者6名)	延べ13名10回 (利用者5名)	延べ12名11回 (利用者4名)	延べ7名12回 (利用者4名)	延べ3名3回 (利用者3名)	延べ29名22回 (利用者5名)
その他			敬和学園大学実習生(2名1日)			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事	ハロウィン 誕生日会 (1名)	有明地区作品展 福祉バザー 誕生日会 (1名)	クリスマスお楽しみ会 クリスマス礼拝・	お正月 誕生日会(1名)	節分豆まき	ひな祭り
散歩	0回	0回	0回	1名1回	0回	1名1回
外出等	受診5名12回	受診4名6回 ドライブ1名1回 カット5名	受診4名 カット4名	受診3名 ドライブ1名1回	受診5名8回 カット5名	受診4名6回 ドライブ1名3回
面会	延べ22名20回 (利用者5名)	延べ22名17回 (利用者5名)	延べ34名20回 (利用者8名)	延べ37名25回 (利用者6名)	延べ16名11回 (利用者5名)	延べ36名29回 (利用者7名)
その他	カーテン付け替え工事 (リビング・居室)				コロナクラスター 発生 (2/6~2/21)	

7. 行事・面会・外出等報告

グループホームマナの家 めぐみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
行事	寺尾中央公園花見 イースター礼拝 誕生日会 (1名)	端午の節句 誕生日会(2名)	和菓子の日	七夕	夏祭り (スイカ割り)	敬老お祝い (どら焼き ちらし寿司) 誕生日会1名
散歩	0回	3名8回	30回1名	1名9回	1名1回	2名15回
外出等	ドライブ1名 選挙1名 受診1名	受診3名	受診3名	受診5名 美容院1名	買い物1名 自宅1名	受診2名
面会	延べ35名31回 (利用者4名)	延べ35名27回 (利用者7名)	延べ20名18回 (利用者4名)	延べ25名23回 (利用者5名)	延べ3名3回 (利用者3名)	延べ21名18回 (利用者4名)
その他			敬和学園大学実習生 2名12日間		コロナクラスター 発生 (8/1~8/21)	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事	ハロウィン 誕生日会(1名)	有明地区合同作品展 福祉バザー	クリスマス礼拝・祝会 忘年会	お正月	節分豆まき 誕生日会 (3名)	ひな祭り 誕生日会(1名)
散歩	5名31回	5名36回	1名1回	4名9回	3名51回	2名42回
外出等	受診 (5名) 買い物 (1名2回) 自宅 (2名5回)	受診 (3名) 買い物 (1名2回)	買い物 (1各2回) 受診2名	買い物1名4回 家族と外食1名 受診1名 自宅1名2回	外泊1名 受診1名 家族と外食1名	買い物1名 受診2名 外泊1名 家族と外食1名
面会	延べ22名20回 (利用者5名)	延べ22名18回 (利用者4名)	延べ57名39回 (利用者5名)	延べ45名38回 (利用者36名)	延べ15名15回 (利用者4名)	延べ32名23回 (利用者5名)
その他		敬和学園大学実習生 2名12日間				避難訓練

共用型デイサービスマナの家 2023年度事業報告

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

活動方針

1. 自己決定、自己実現ができる。
2. 制約されないケア。
3. 地域と関わりながら暮らす。
4. 生き方や価値観を尊重し認め合う。
5. 自由な暮らしを支援する。

重点目標

1. 共用型デイサービスとしてグループホームご利用者との交流や行事の実施により通うことへの楽しみを増やす。
2. ご家族や担当ケアマネジャー、他の事業所との連携を強化、ケアプランに沿った支援をチームで行う。

行動計画

1. 共用型デイサービスとしてグループホームご利用者との交流や行事の実施により通うことへの楽しみを増やす。
 - ① 無理のない範囲で日々の楽しみごとや作業など、他のご利用者と共に楽しめる環境作りを行った。
 - ② 誕生日会など行事はなるべくデイサービスご利用の日時に開催できるよう設定し楽しい時間が増やせるよう働きかけた。
2. ご家族や担当ケアマネジャー、他の事業所との連携を意識し、ケアプランに沿った支援をチームで行う。
 - ① サービス担当者会議に参加し、ご家族や多職種とサービスについて話し合い、情報共有を図った。
 - ② ホームでの新型コロナ感染症クラスター発生時には、他のサービスへの振り替えがスムーズとなるようケアマネジャーと連携した。
 - ③ ご家族の介護状況やご本人の在宅時の変化などがあつた際には、早急に連絡を取り合い、課題解決に向け対応を行った。

からし種・愛隣包括支援事業 2023年度事業報告（案）

基本理念

- ・親子が地域で安心して子育て、子育てができる。
- ・障害があっても、老いても、安心して住み慣れた地域でずっと暮らせる。
- ・地域で支えあえ、地域で育て、地域で見守るたまり場を提供し交流を図る。
- ・赤ちゃんからお年寄りまで、安心して預かることができる。

重点目標

- 1 自主事業の発展と拡大のため、総合的に管理運営できる組織編成を行う。
- 2 公共事業としての各事業の連携、スタッフ間の情報の共有化を図る。
- 3 新型コロナウイルス等の感染防止等の徹底化を図る。
- 4 感染予防の相違工夫により、地域住民との新たな出会いとつながりの継続性に取り組む。
- 5 利用者の入退居による空室の短縮化をめざす。

1 愛隣包括支援事業（みとり支援）行動計画及び評価

- (1) その人らしく最後まで暮らすことができるよう、本人、家族の思いをしっかりと受け止めることに努める。
 - ① グループホームで生活していたが、認知症が進み車椅子生活になってから、みとり支援に入居された方で入居中に一人娘がなくなり、成年後見制度「後見」を利用されていた100歳の方を看取らせていただいた。ご家族の面会もないため、職員が、職員としてまた、家族としてかわりながら看取りを経験できた。
 - ② 看取り介護にあたり、反応が少なくても言葉がけをしながら、表情の変化にも注意を払い、本人の思いを感じながらの介護を体験。職員の中に「今まで何十年もいろいろな職場で介護を体験してきたが、今回ほどこれが本当の介護だと思えたことはなかった」との感想があった。
- (2) 新型コロナウイルスの感染防止策の徹底を図りながら、戸外への散歩やドライブなどの外出を試みるなど、活動の場を広げていく。
 - ① 当グループホームでも、2回のクラスターがみられたが、愛隣包括支援事業（みとり支援）のところまでの感染はなく終息に至った。
 - ② 毎日、手摺やドアノブ、テーブルや椅子などアルコール消毒に等を行うとともに換気等に努めた。また、職員及び入居者へ毎日、体温やサチレーション検査を行い体調管理を実施。また、体調が気になる時は

コロナの抗原検査を実施し感染予防及び感染の早期発見に努めた。

- ③ 戸外への散歩やドライブなどの外出により、活動の場を広げていくことまで対応できなかったが、居室やみんなの家からマナの家の庭に咲く花や野菜の成長を眺めていただき、四季を感じていただいた。

(3) 看取り介護の充実を図るため、地域医療並びに介護関係機関との情報交換を密にしながら信頼関係を築き、本人・ご家族の意向に添える安らかな自然死を迎えられるように支援する。

- ① 看取り介護にあたり、主治医へ状態変化について密に情報提供することにより、医師から適切な指示を得ることができ、不安なく介護にあたることができた。また、入居者に変化があった時、緊急の医師連絡に対応してもらうこともでき、安心しながらの介護が安らかな自然死につながったと思われる。

(4) 定期的及び入居者に変化があった時にスタッフ会議を開催し、入居者の状態に合った安心、安全な介護を職員全員でタイムリーにできるよう努める。

- ① 新規入居者や新規職員がみられた時などにスタッフ会議を開催し、全員、安心して介護できるよう試みた。
- ② 入居者の変化や介護の方法など、気になったことについて、自由に書いてもらうノートを用意し職員同士、情報交換を実施したことも、安心、安全な介護の実践につながったと思われる。

(5) 稼働率100%に近づけることを目標に、自主事業としての健全な経営を目指す。

- ① 看取りを中心として運営されてきた3名定員のうち令和5年暮れに看取り1名、医療施設へ1名入所。その後、しばらく入居希望者がなかったため、入居受け入れを休止し事業の縮小に至った。

2023年度 みんなの食堂報告

※みんなの食堂をお弁当方式(夕食)で開催

開催日	参加者人数							イベント	
	お弁当食数				関係者				
	大人	子ども	未就学児	合計	ボランティア	スタッフ	講師その他		
4月24日	76	35	21	132	5	4	1	7月:夏休み子供向け「お弁当メニューコンテスト」チラシ配布	
5月22日	66	27	19	112	4	4	1		
6月24日	68	25	20	113	4	4	1		
7月24日	66	23	23	112	4	4	1		
8月	マナの家にてコロナウイルス感染者発生のため中止								
9月25日	67	27	24	118	2	4	1+実習生2		11月3日:からし種の会福祉バザー出店 手作りパン、おはぎ、さつま芋ご飯、唐揚げ、たこ焼き、玉こんにゃく
10月23日	64	24	21	109	3	4	1		
12月18日	73	25	27	125	2	4	1		12月:クリスマスプレゼント(お菓子など詰め合わせ)子供たちに配布
1月22日	70	25	24	119	5	4	0		1月:メニューコンテスト採用メニュー
2月	マナの家にてコロナウイルス感染者発生のため中止								8名応募、3名のメニュー採用。採用のお子さんに図書カードプレゼント
3月25日	68	19	22	109	5	3	1		
計	618	230	201	1049	34	35	10		

※JA共済連新潟、いっぺこーとより野菜、肉、米の食材提供毎月あり。